

令和5年度 日向市立美々津中学校 学校評価

【評価基準 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

番号	重点目標	重点目標達成のための手段	自己評価	学校関係者評価	委員の意見 (○：期待通り・★：改善内容・☆：提案)	
1	確かな学力の定着	●「わかるまで、できるまで」をモットーとした学力向上の推進	3	○各教科において、めあてとまとめの整合性を図る授業、生徒同士の学び合いの場の設定などを意識した授業を行った。 ★生徒たち自身の言葉でまとめさせるなど、表現力を高める工夫をしていきたい。	3	○主体的な学習を促すための学び合いの効果的 ☆毎授業一人を指名し、総括を数十秒程度発表させる。 ☆先生方が個別指導をしていただいたり等、工夫されているので“確かな学力の定着”は達成できる。
		●将来を見すえ、粘り強く学習に取り組む生徒の育成	3	○基礎基本的な内容の小テストや、コンテストなどを行い、生徒の学習に対する意欲を高めた。 ○授業開始2分前の着席徹底や聞く態度、学習用具を整備など、学習規律の大切さを指導した。 ★今後も学習規律を徹底させ小テストやコンテストの結果を称賛しながら意欲を向上させていく。	3	○コンテストへの積極的な参加はよい。英検、漢検などの学習チャンスを生かしてほしい。 ○結果が明確に分かる小テストやコンテストは効果的だと思う。
		●家庭学習の習慣化	3	○各教科で課題を出したり、学級で自学ノートに取り組みさせるなど、工夫をした。 ○熱心に取り組む生徒と、家庭学習の習慣が付いていない生徒に差が見られた。 ★生徒の実態に応じた家庭学習への手立てのさらなる工夫を検討していく。	2.8	☆可能であれば、個人個人の学習レベルを分類し、各レベルごとに課題を出してみてもどうか。 ★家庭学習をいかに充実させていくかは、家庭への啓発（意識付け）が大事だと思う。
		●進路実現ができる学力の保障、キャリア教育の推進	3	○修学旅行や職場体験学習、ふるさと再発見事業などの校外学習で、将来の自分について考えるきっかけを作ることができた。 ○高校説明会や実力テストを通して、進学に向けて意欲を高めさせることができた。 ★活動をするだけでなく、活動後の発表の場を工夫するなど、表現力を高める工夫をしていく。	3.3	○様々な自分づくりを見つめ直す場づくりに取り組んでいる。 ○生徒にとってよい刺激となる取組だと思う。
2	生徒指導の充実	●「時を守り、場を清め、礼を正す」姿勢の醸成（清掃・給食等を通して）	3	○清掃活動はおおむね良かったものの、机上や棚の整理など学習環境づくりが不十分だった ★生徒の学習委員会の取組活動や、授業中における教師の指示で徹底させる。	3.4	○学習環境づくりによく取り組んでいると思う。 ○掃除時間は誰も話さず、真剣に行っておりいつも感心している。このまま続けてほしい。 ○学習環境を整えることは生徒にとって大切だ。 ○無言清掃が徹底していて気持ちよかった。
		●社会性の習得と規範意識の高揚	2	○休み時間、昼休みの過ごし方がよくないことが頻繁にあった（大声、奇声） ★学級三役や生徒会を中心としたルール作りや啓発活動を取り入れる。	2.6	○よい。 ★元気が仲が良く…するのは、難しいときもある。けがさえなければよいのですが。 ★社会性は、世の中のルールをいかにうまく教えられるか。 ★小中一貫した9年間の取組が大切だと思う。 ☆学級長を中心にクラスで話し合うとよいのでは。
		●豊かな心の育成	2	○思いやりに欠ける発言やけんか等による人間関係のトラブルがあった。 ★特別支援教育の視点を取り入れた指導を行う。（例：学活でSSTを実施し、他人の気持ちを推察する活動を行う）	2.6	★小学校との連携を強化し情報の共有と対策を考える。1年生（新入生）には特に注意が必要だと思う ★相手の立場にたった言動。その場で地道に直していくしかないと考える。 ★“学力の定着”の項と重なるが、授業中と違い、休み時間などは、大人の目が届かないので、けがをしないよう祈るばかりです。”他人と自分の違いを認め、敬意を払う”ことが少しでもできるようになりますように… ★家庭教育も大切だと思う。
		●正義が通る集団（生徒会を中心とした民主的な集団の育成）	2	○生徒総会での議論が消極的だった。 ○学年段階によるところもあるが、3年生は積極的な討論だった。 ★議論するポイントや意見の出し方など、集団で議論する方法・技術を指導する。	2.8	★討論の仕方については指導を要すると思う。ディベート学習など日常の授業の場でできるとよい。 ★生徒総会が消極的だったのは残念。 ☆生徒が考え、ルールなどを決める、など…議論する場を増やしてほしい。 ☆各クラスでの議論が全体への議論へとつながるのと思う。 ☆生徒たちの主体性に任せて、大人がフォローしすぎないことも必要だと思う。
3	生き抜く力を付けるための保健・安全指	●災害や事故から身を守るための知識・技能・心の教育	3	○避難訓練は予定通り実施。天候にも恵まれ、生徒も真剣に取り組んだ。 ★不審者対応の訓練も今後検討する。→2月に不審者対応の安全集会実施	3.5	○学校の所在地の危険性をよく認識している。 ○避難訓練は真剣に取り組んでいる。頻繁に訓練していただくのはありがたい。地域とできるとよい。 ☆避難の際に踏切が気になる。電車が停車した場合の訓練も必要 ☆「地域ぐるみ」の避難訓練を実施することも検討してほしい。
		●体力の向上と健康教育の充実	3	○体育的行事には全て積極的に取り組み、校内における大きな怪我等もなかった。 ○各月の「ほげんだより」で健康に対する啓発を行っている。 ★引き続き感染症防止対策の徹底強化。	3.5	○インフルエンザで学級閉鎖も出たが、体育大会も柔道（保体の授業）もできて、上々だと思う。 ○保健だよりを楽しみにしている。 ○体育大会は一日開催でとてもよかった。
		●部活動の活性化	3	○少ない人数でも充実した活動ができている。 ★部活動に入部しない生徒が増えており、部によっては存続の危機も心配である。	3.2	○少人数にも関わらず、よく盛り上げている。 ☆小規模校でこれだけ出来たら充分だが、体育文化後援会費を上手く活用できないものかと案ずる。人数も減って先のことを考えると、外部委託も急いほうがいいのではないと思うが、情報がない。 ☆活動時間が短く、クラブチームなどに流れている。 ☆部活動の地域移行の流れにより、保護者の協力の必要になってくると思う。
		●学校安全の徹底と環境整備、美化の推進	3	○安全点検により、職員から要望のあがってきた修理等にすぐに対応できた。 ★予算などにより修理できない場合もあるが、その都度教育委員会へ依頼をしている。	3.5	○“すぐ対応”大変良い。 ○女子トイレに生理用品も常備され、技術員の方が整備しているので充分だと思う。 ○体育館の照明など対応できている。
4	家庭・地域との連携	●学校だより、HP・安心安全メール学級通信等による積極的な情報発信	3	○随時、HPを更新し、生徒の学校や地域での様子を配信することができた。また安心安全メールを活用して、緊急連絡等を保護者へ伝達することができた。 ○毎週の学級通信発行で学級担任の生徒たちへの思いや保護者への連絡を伝えることができ、毎月の学校だよりも充実していた。 ★HPや安心安全メールの配信を継続していく。また、保護者や地域の方の声を取り上げていく。 ★本年度のHP閲覧者は50万人を超えたが、より多くの方に情報発信をしていくために地域で回覧していただいている「学校だより」にHPのQRコードを入れる。	3.2	○家庭、地域との連携をよくできていると思う。安心安全メールは良い取組 ○保護者への伝達は充分だと思う。安心安全メールも増えている。 ○安心安全メールなど保護者への連絡ができていたと思う。 ★地区、地域の方々へは情報発信が足りない。 ☆頻繁に連絡をとる保護者は情報交換しやすいが、いわゆる普通の子の保護者と風通しをよくするとよいと思う。
		●学校、家庭の双方向の情報交換	3	○学校では、定期的な相談を行うことができた。随時的に保護者の声を聞くことができた。 ★今後もPTA役員会等を通じて積極的な情報交換ができるとよい。	2.8	○アンテナを高くしていろいろな情報を収集している。 ○行事が再開され、学校との距離が近くなり、情報交換ができた。
		●小中一貫教育（ランドデザイン）の実施	2	○地域・保護者への周知が足りない。具体的に何をやるのかの周知ができていない。 ★あいさつ運動の「のぼり旗」は継続して小中学校で実践していく。 ★中学生から小学生へ勉強を教える機会を探る。 ★ランドデザイン図を保護者。地域へ配付して、PTA総会等で説明する。	2.6	○各学校に「のぼり旗」があり、共通的な取組を意識できている。特に地域への啓発が大切。 ★全くピンと来なくて…。目標と手段がうまくつながらず理解できていない。 ☆ランドデザイン図を配付して説明をお願いしたい。 ☆年度初めの参観日（PTA総会）でわかりやすい説明で紹介してほしい。 ☆教職員にも周知を徹底してほしい。